

セッションII 市民の取り組みと研究者の連携

古文書の調査と学習 — 奈良県内での取り組み —	谷山正道
町史編纂から大字誌へ	大槻 守
ボランテアとあゆむ市民文書館 — 尼崎市立地域研究史料館の場合 —	松岡弘之
大学・市民連携による古文書の調査と活用の試み — 三重県南部の事例を中心に —	塚本 明

セッションIII まちづくりと歴史の商品化をめぐるせめぎ合い

和歌山の文化財・史料と観光 — 個人の経験を通して —	藤本清二郎
地域をみつめる — 大分の文化的景観・世界農業遺産・ジオパーク —	櫻井成昭
カタカナ名の執筆者	マーレン・エーラス

第四回地域史惣寄合をふりかえる

第四回地域史惣寄合で感じたこと	青木歳幸
地域史惣寄合への思い	吉田伸之
参加記	竹永三男／三ツ松誠／ジョアンナ・リンザト／島田克彦／森下徹
第四回地域史惣寄合の準備を振り返って	齊藤絃子

第四回地域史惣寄合開催案内チラシ